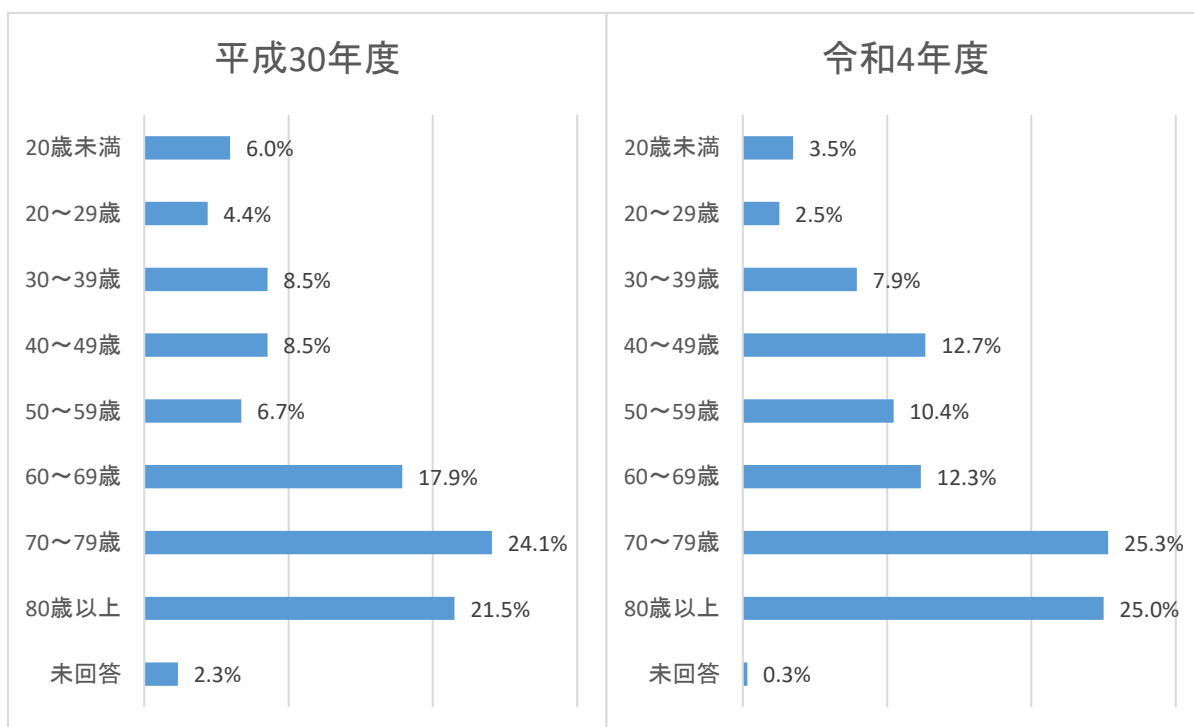


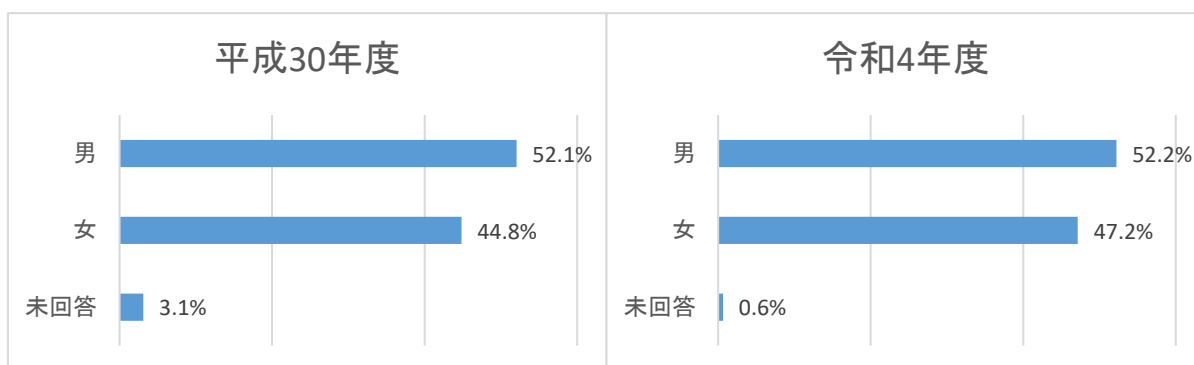
問1 障害者ご本人の年齢はおいくつですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
20歳未満	23	6.0%	11	3.5%
20～29歳	17	4.4%	8	2.5%
30～39歳	33	8.5%	25	7.9%
40～49歳	33	8.5%	40	12.7%
50～59歳	26	6.7%	33	10.4%
60～69歳	69	17.9%	39	12.3%
70～79歳	93	24.1%	80	25.3%
80歳以上	83	21.5%	79	25.0%
未回答	9	2.3%	1	0.3%
計	386	100.0%	316	100.0%



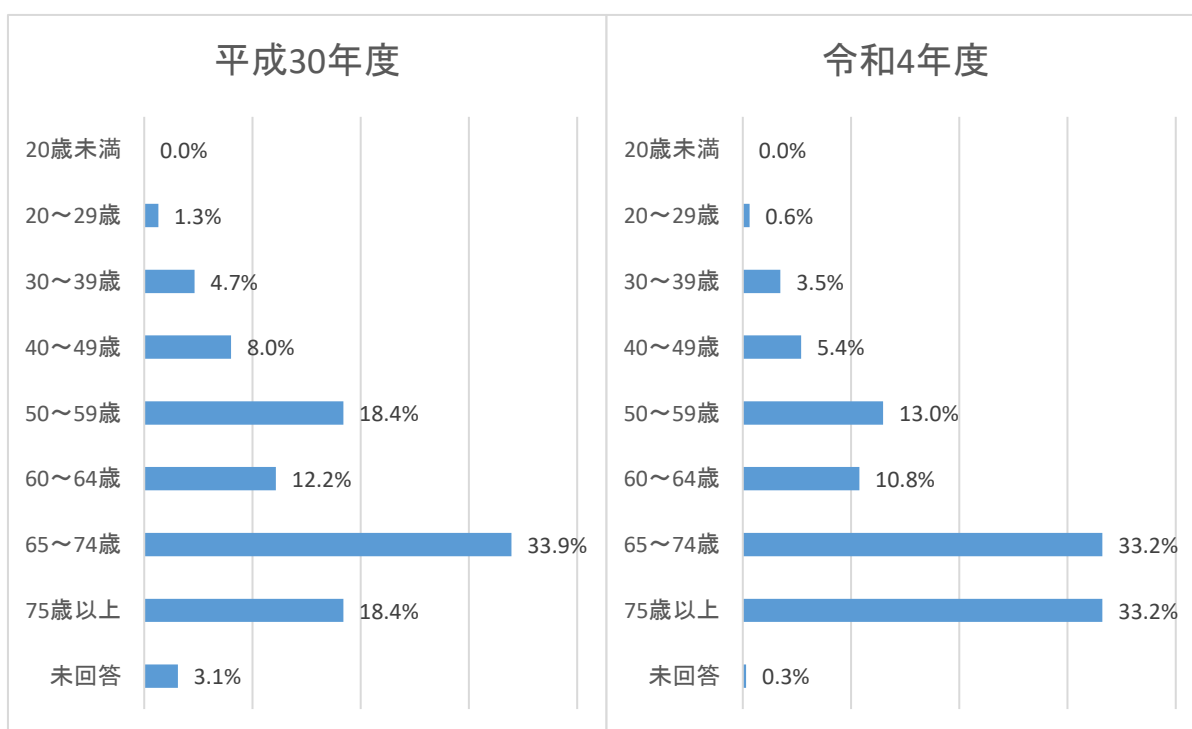
問2 ご本人の性別はどちらですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
男	201	52.1%	165	52.2%
女	173	44.8%	149	47.2%
未回答	12	3.1%	2	0.6%
計	386	100.0%	316	100.0%



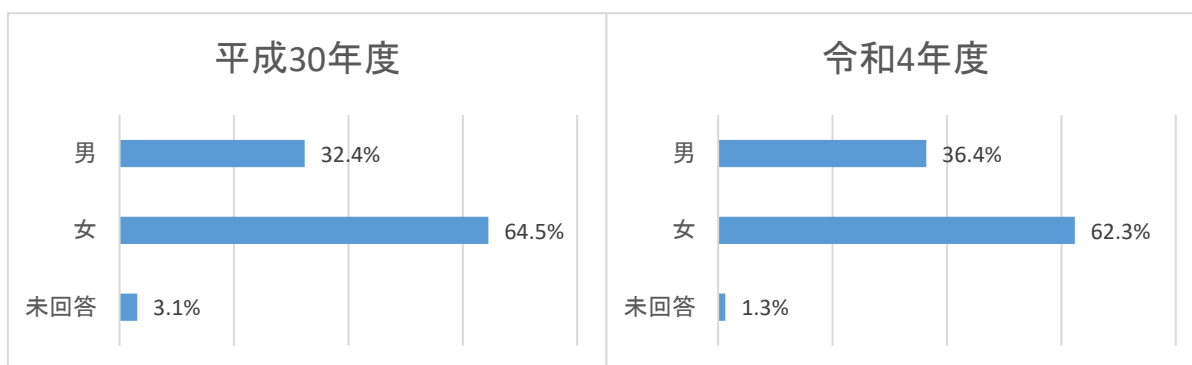
問3 介護者のあなたの年齢はおいくつですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
20歳未満	0	0.0%	0	0.0%
20～29歳	5	1.3%	2	0.6%
30～39歳	18	4.7%	11	3.5%
40～49歳	31	8.0%	17	5.4%
50～59歳	71	18.4%	41	13.0%
60～64歳	47	12.2%	34	10.8%
65～74歳	131	33.9%	105	33.2%
75歳以上	71	18.4%	105	33.2%
未回答	12	3.1%	1	0.3%
計	386	100.0%	316	100.0%



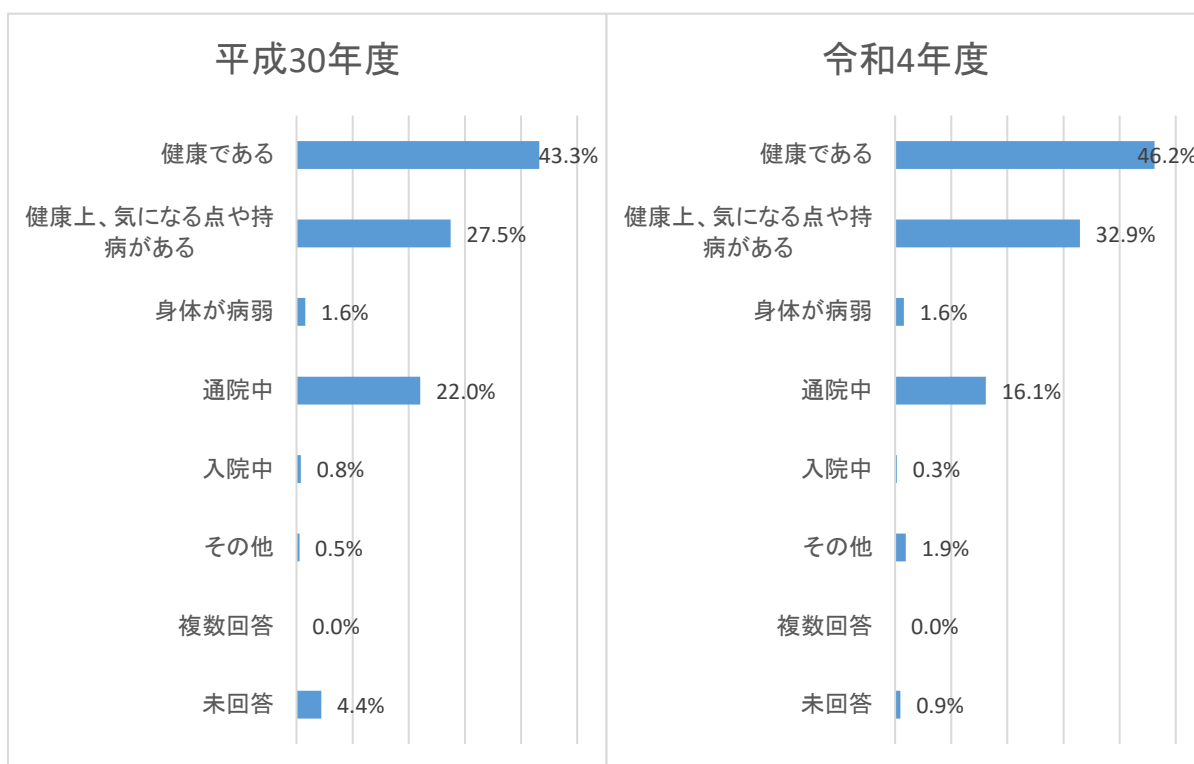
問4 あなたの性別はどちらですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
男	125	32.4%	115	36.4%
女	249	64.5%	197	62.3%
未回答	12	3.1%	4	1.3%
計	386	100.0%	316	100.0%



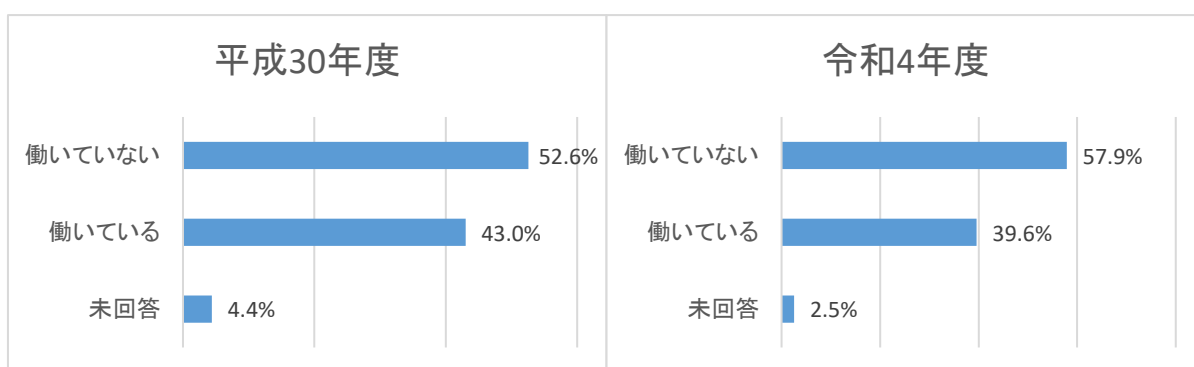
問5 介護者あなたの健康状態はいかがですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
健康である	167	43.3%	146	46.2%
健康上、気になる点や持病がある	106	27.5%	104	32.9%
身体が病弱	6	1.6%	5	1.6%
通院中	85	22.0%	51	16.1%
入院中	3	0.8%	1	0.3%
その他	2	0.5%	6	1.9%
複数回答	-	-	0	0.0%
未回答	17	4.4%	3	0.9%
計	386	100.0%	316	100.0%



問6 介護者のあなたは現在、働いていますか。

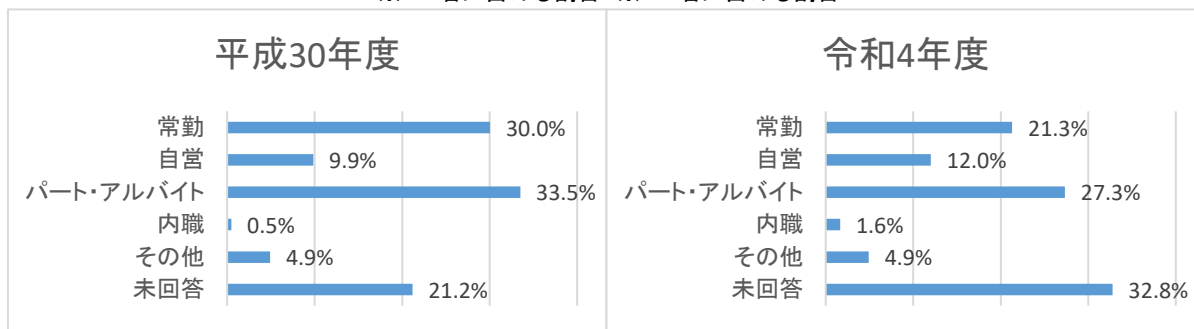
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
働いていない	203	52.6%	183	57.9%
働いている	166	43.0%	125	39.6%
未回答	17	4.4%	8	2.5%
計	386	100.0%	316	100.0%



働いている方の中で勤務形態は次のどれですか。

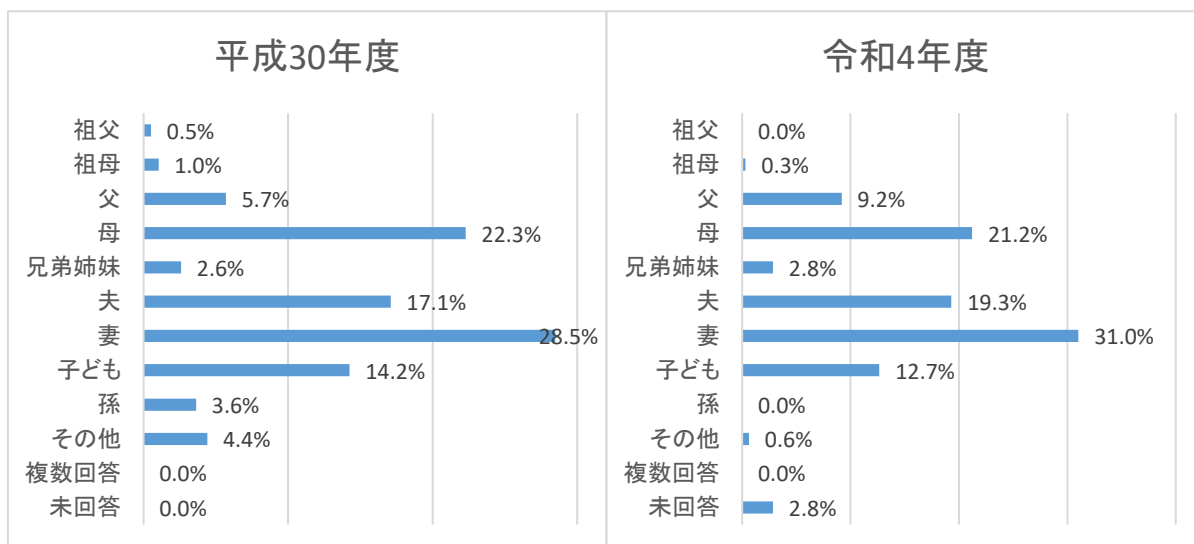
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
常勤	61	30.0%	39	21.3%
自営	20	9.9%	22	12.0%
パート・アルバイト	68	33.5%	50	27.3%
内職	1	0.5%	3	1.6%
その他	10	4.9%	9	4.9%
未回答	43	21.2%	60	32.8%
計	203	100.0%	183	100.0%

※203名に占める割合 ※183名に占める割合



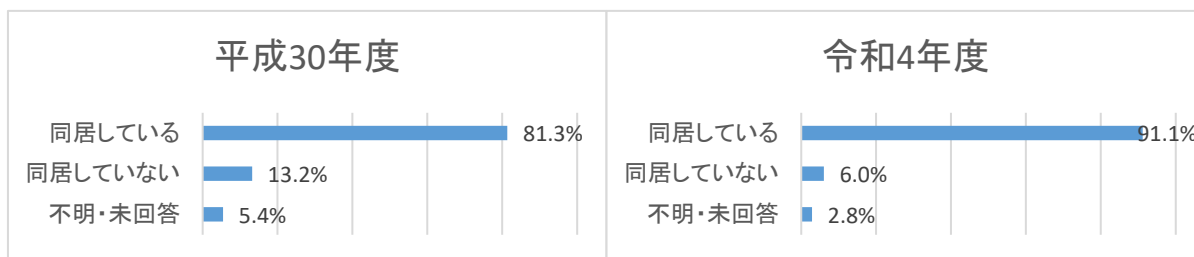
問7 介護者のあなたはご本人から見て次のどなたですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
祖父	2	0.5%	0	0.0%
祖母	4	1.0%	1	0.3%
父	22	5.7%	29	9.2%
母	86	22.3%	67	21.2%
兄弟姉妹	10	2.6%	9	2.8%
夫	66	17.1%	61	19.3%
妻	110	28.5%	98	31.0%
子ども	55	14.2%	40	12.7%
孫	14	3.6%	0	0.0%
その他	17	4.4%	2	0.6%
複数回答	-	-	0	0.0%
未回答	-	-	9	2.8%
計	386	100.0%	316	100.0%



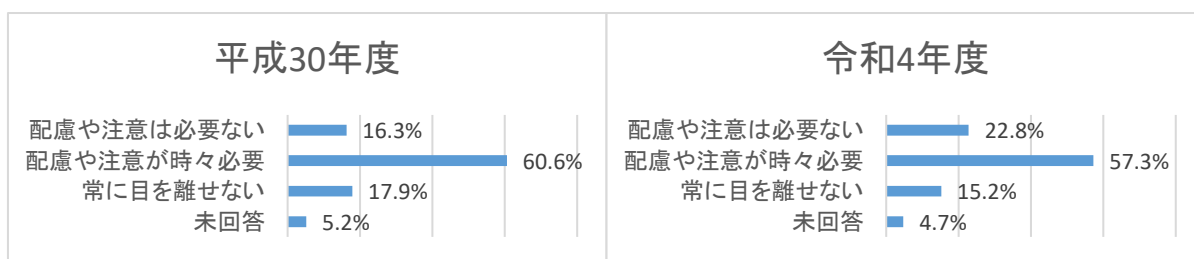
問8 あなたは、ご本人と同居していますか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
同居している	314	81.3%	288	91.1%
同居していない	51	13.2%	19	6.0%
不明・未回答	21	5.4%	9	2.8%
計	386	100.0%	316	100.0%



問9 介護者のあなたからみたご本人の現在の様子はいかがですか。

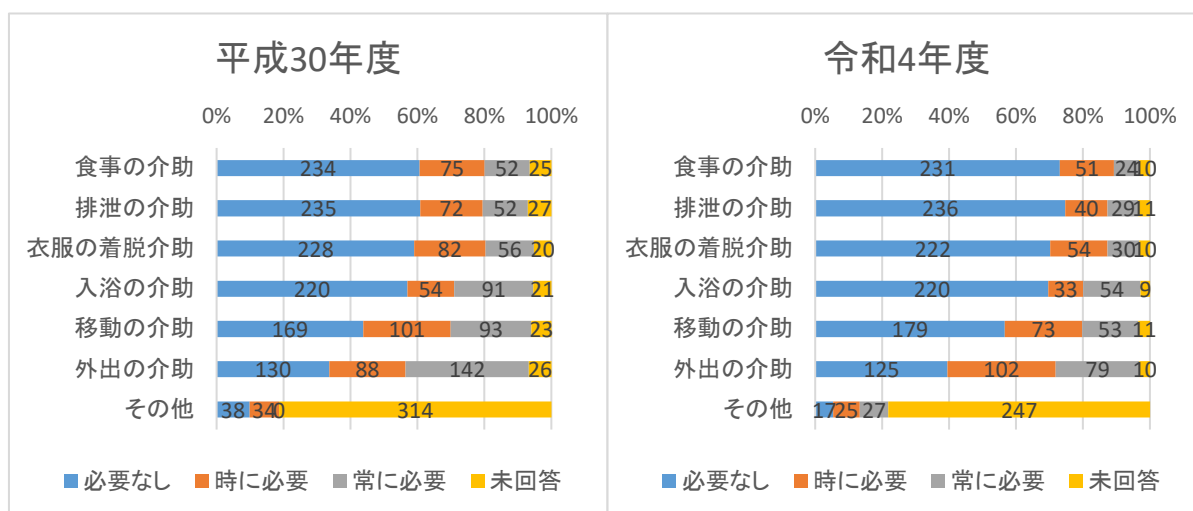
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
配慮や注意は必要ない	63	16.3%	72	22.8%
配慮や注意が時々必要	234	60.6%	181	57.3%
常に目を離せない	69	17.9%	48	15.2%
未回答	20	5.2%	15	4.7%
計	386	100.0%	316	100.0%



問10 ご本人への介助の程度は次のどれですか。

項目	平成30年度				計
	必要なし	時に必要	常に必要	未回答	
食事の介助	234	75	52	25	386
排泄の介助	235	72	52	27	386
衣服の着脱介助	228	82	56	20	386
入浴の介助	220	54	91	21	386
移動の介助	169	101	93	23	386
外出の介助	130	88	142	26	386
その他	38	34	0	314	386

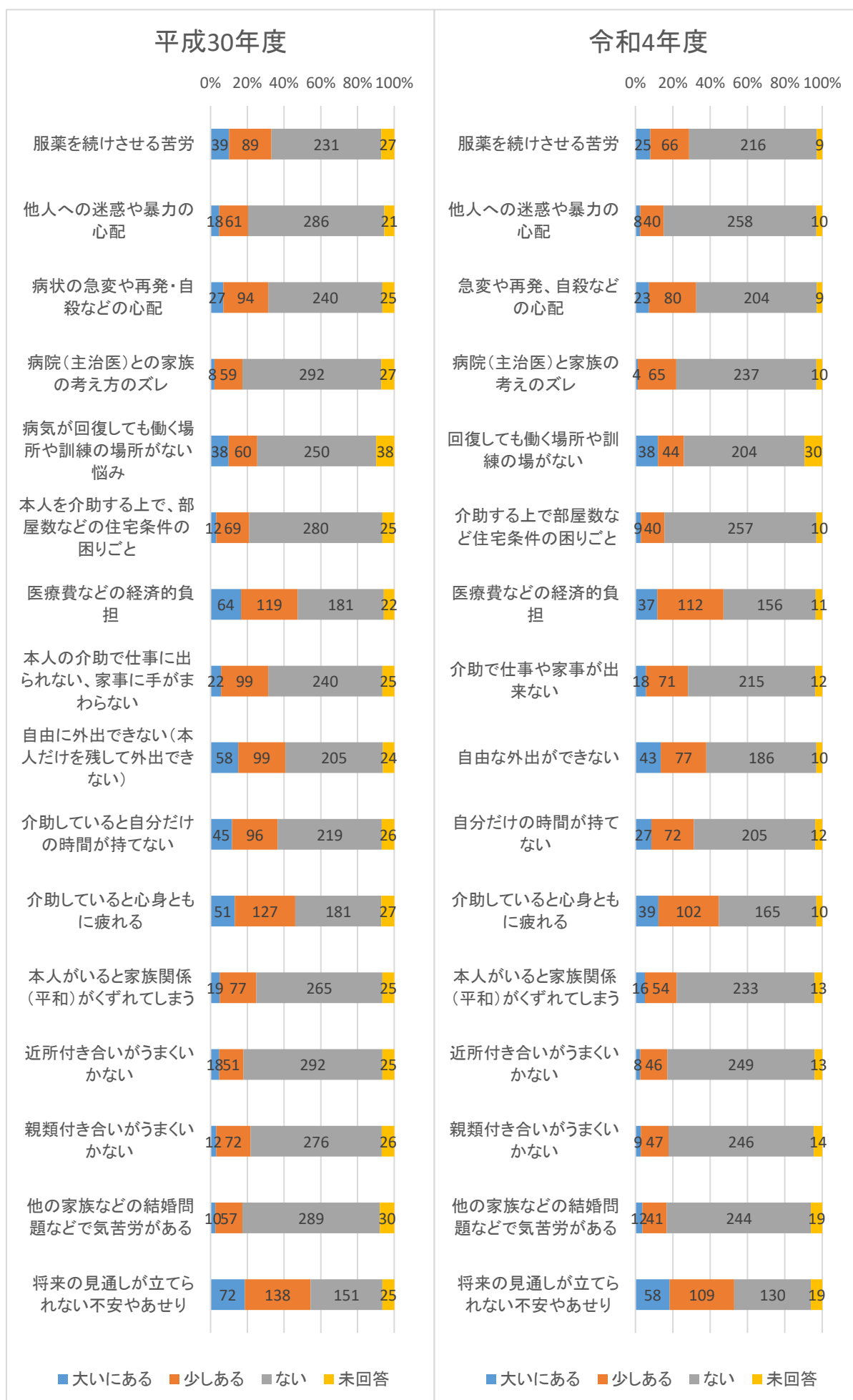
項目	令和4年度				計
	必要なし	時に必要	常に必要	未回答	
食事の介助	231	51	24	10	316
排泄の介助	236	40	29	11	316
衣服の着脱介助	222	54	30	10	316
入浴の介助	220	33	54	9	316
移動の介助	179	73	53	11	316
外出の介助	125	102	79	10	316
その他	17	25	27	247	316



問11 最近1年間のことを考えて、各項目ごとにあてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

項目	平成30年度				計
	大いにある	少しある	ない	未回答	
服薬を続けさせる苦労	39	89	231	27	386
他人への迷惑や暴力の心配	18	61	286	21	386
病状の急変や再発・自殺などの心配	27	94	240	25	386
病院(主治医)と家族の考え方のズレ	8	59	292	27	386
病気が回復しても働く場所や訓練の場所がない悩み	38	60	250	38	386
本人を介助する上で、部屋数などの住宅条件の困りごと	12	69	280	25	386
医療費などの経済的負担	64	119	181	22	386
本人の介助で仕事に出られない、家事に手がまわらない	22	99	240	25	386
自由に外出できない(本人だけを残して外出できない)	58	99	205	24	386
介助していると自分だけの時間が持てない	45	96	219	26	386
介助していると心身ともに疲れる	51	127	181	27	386
本人がいると家族関係(平和)がくずれてしまう	19	77	265	25	386
近所付き合いがうまくいかない	18	51	292	25	386
親類付き合いがうまくいかない	12	72	276	26	386
他の家族などの結婚問題などで気苦労がある	10	57	289	30	386
将来の見通しが立てられない不安やあせり	72	138	151	25	386

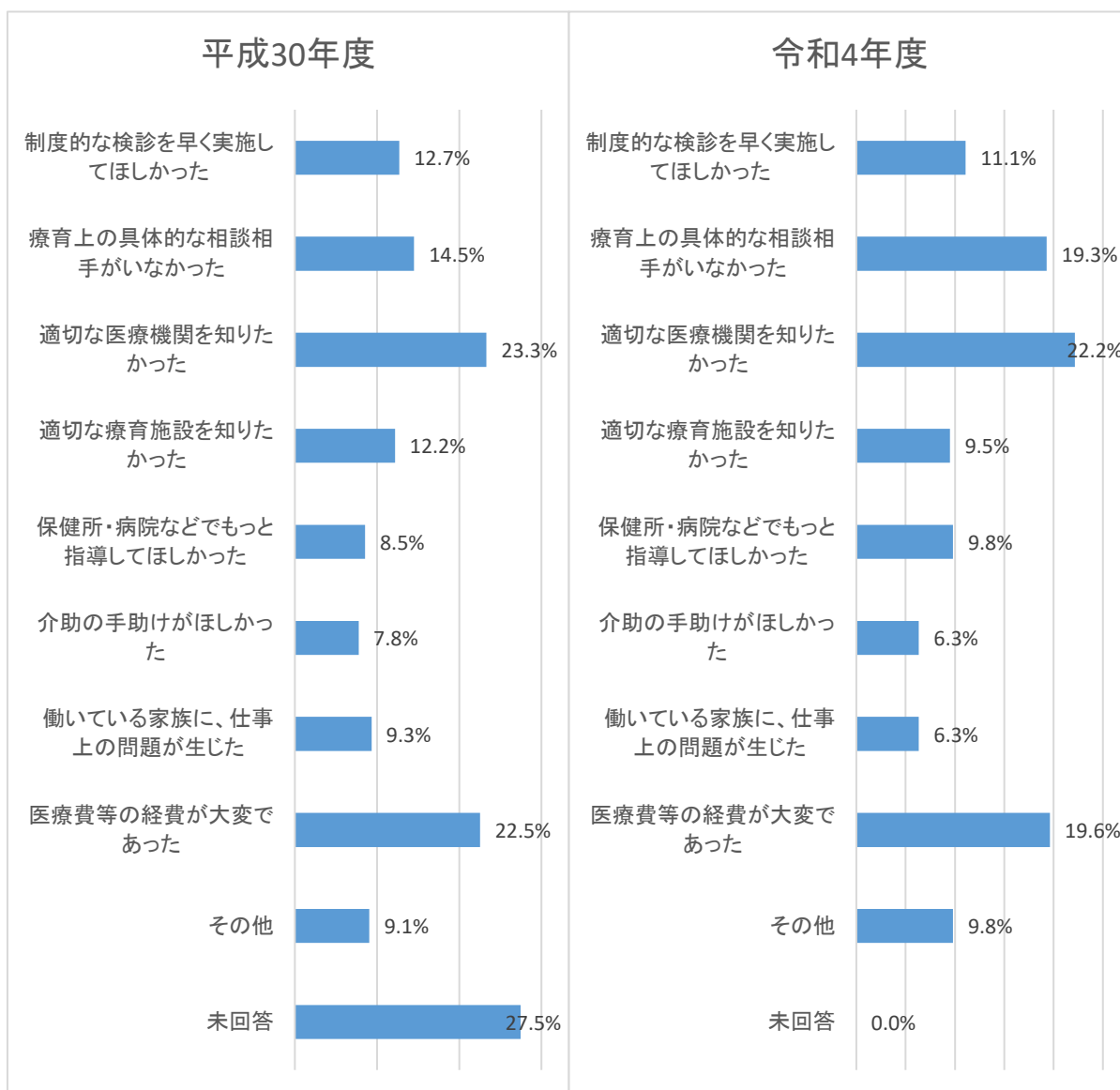
項目	令和4年度				計
	大いにある	少しある	ない	未回答	
服薬を続けさせる苦労	25	66	216	9	316
他人への迷惑や暴力の心配	8	40	258	10	316
急変や再発、自殺などの心配	23	80	204	9	316
病院(主治医)と家族の考えのズレ	4	65	237	10	316
回復しても働く場所や訓練の場がない	38	44	204	30	316
介助する上で部屋数など住宅条件の困りごと	9	40	257	10	316
医療費などの経済的負担	37	112	156	11	316
介助で仕事や家事が出来ない	18	71	215	12	316
自由な外出ができない	43	77	186	10	316
自分だけの時間が持てない	27	72	205	12	316
介助していると心身ともに疲れる	39	102	165	10	316
本人がいると家族関係(平和)がくずれてしまう	16	54	233	13	316
近所付き合いがうまくいかない	8	46	249	13	316
親類付き合いがうまくいかない	9	47	246	14	316
他の家族などの結婚問題などで気苦労がある	12	41	244	19	316
将来の見通しが立てられない不安やあせり	58	109	130	19	316



問12 ご本人の障害についての相談、診断、判定を受けたころの、ご家族のご苦労や不安はいかがでしたか。(2つまで選択)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
制度的な検診を早く実施してほしかった	49	12.7%	35	11.1%
療育上の具体的な相談相手がいなかった	56	14.5%	61	19.3%
適切な医療機関を知りたかった	90	23.3%	70	22.2%
適切な療育施設を知りたかった	47	12.2%	30	9.5%
保健所・病院などでもっと指導してほしかった	33	8.5%	31	9.8%
介助の手助けがほしかった	30	7.8%	20	6.3%
働いている家族に、仕事上の問題が生じた	36	9.3%	20	6.3%
医療費等の経費が大変であった	87	22.5%	62	19.6%
その他	35	9.1%	31	9.8%
未回答	106	27.5%	-	-
総数	569		360	

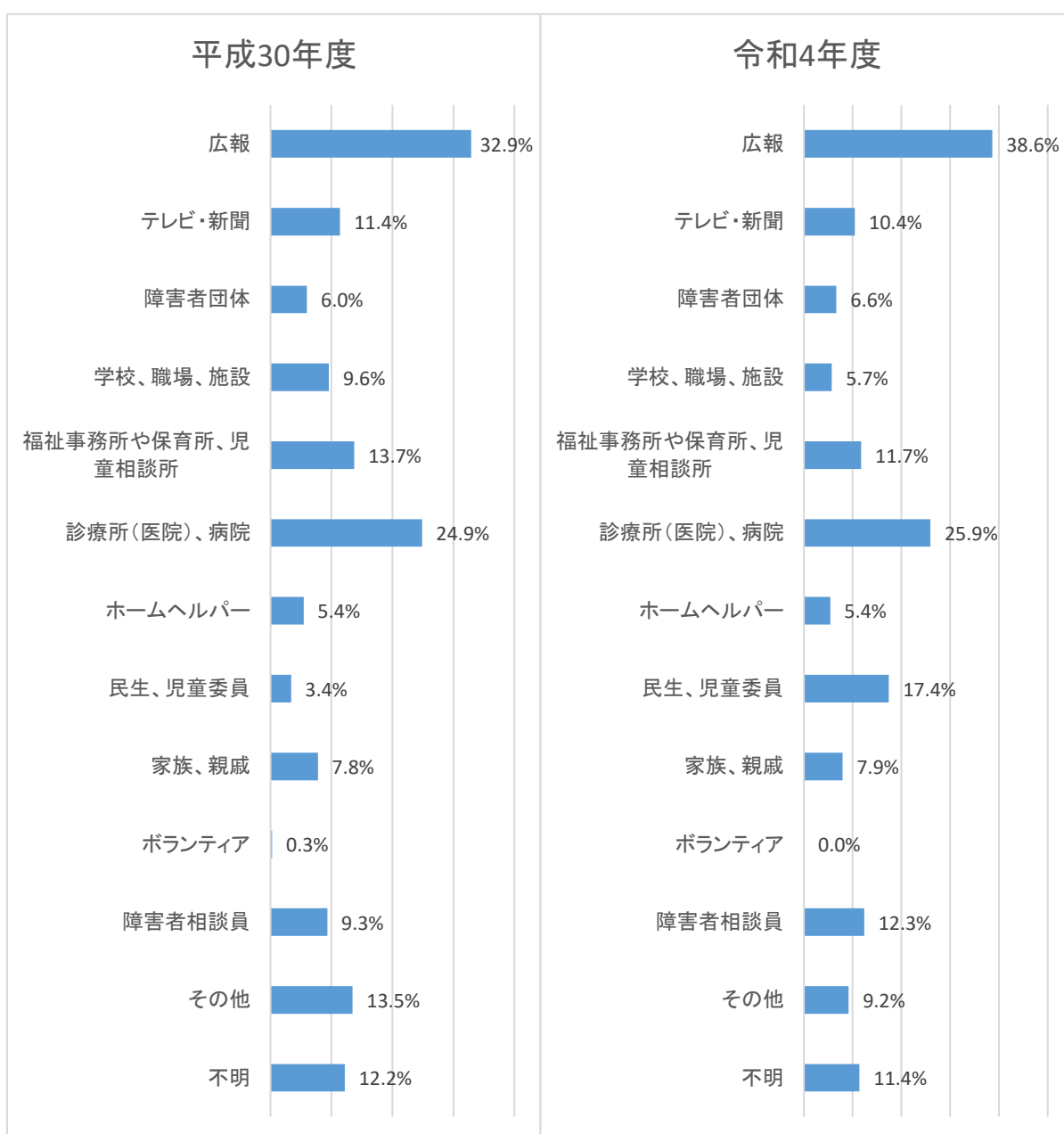
※386名に占める割合 ※316名に占める割合



問13 障害者福祉サービスなどの情報はどのようにして得ていますか。(2つまで選択)

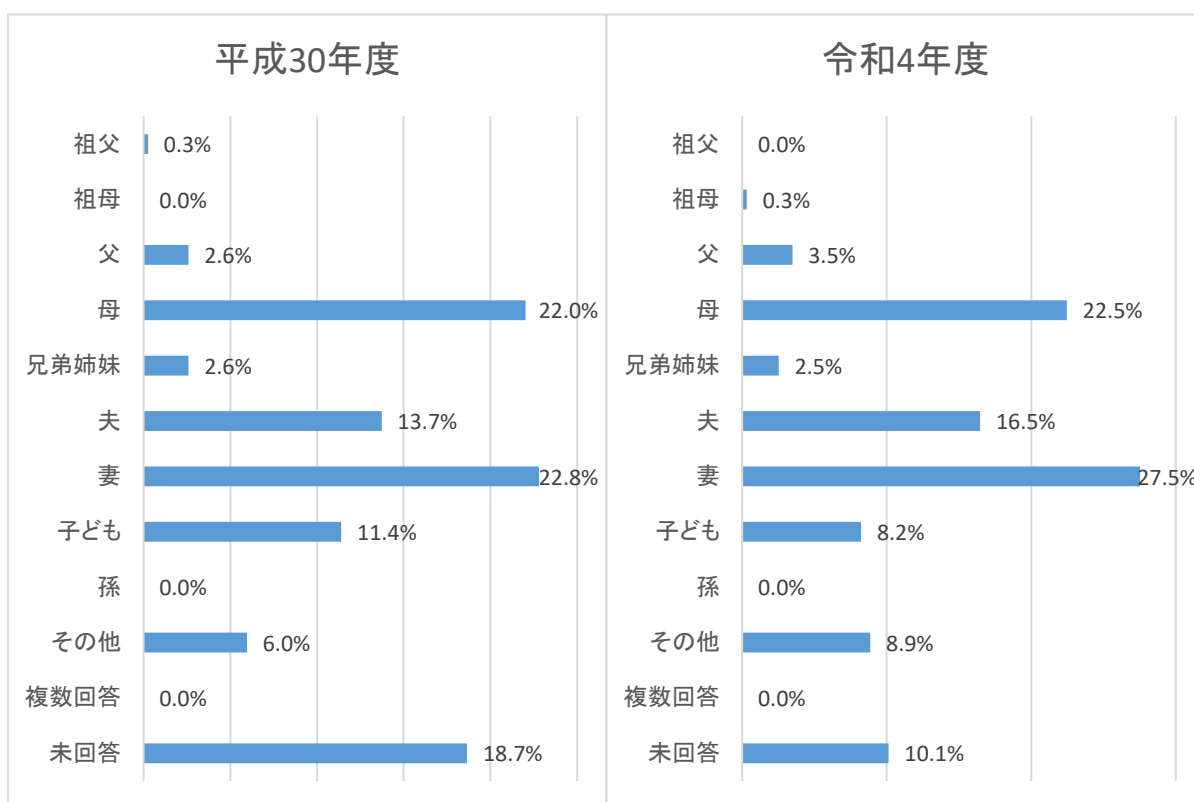
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
広報	127	32.9%	122	38.6%
テレビ・新聞	44	11.4%	33	10.4%
障害者団体	23	6.0%	21	6.6%
学校、職場、施設	37	9.6%	18	5.7%
福祉事務所や保育所、児童相談所	53	13.7%	37	11.7%
診療所(医院)、病院	96	24.9%	82	25.9%
ホームヘルパー	21	5.4%	17	5.4%
民生、児童委員	13	3.4%	55	17.4%
家族、親戚	30	7.8%	25	7.9%
ボランティア	1	0.3%	0	0.0%
障害者相談員	36	9.3%	39	12.3%
その他	52	13.5%	29	9.2%
不明	47	12.2%	36	11.4%
総数	580		514	

※386名に占める割合 ※316名に占める割合



問14 主に介助をしている人はどなたですか。

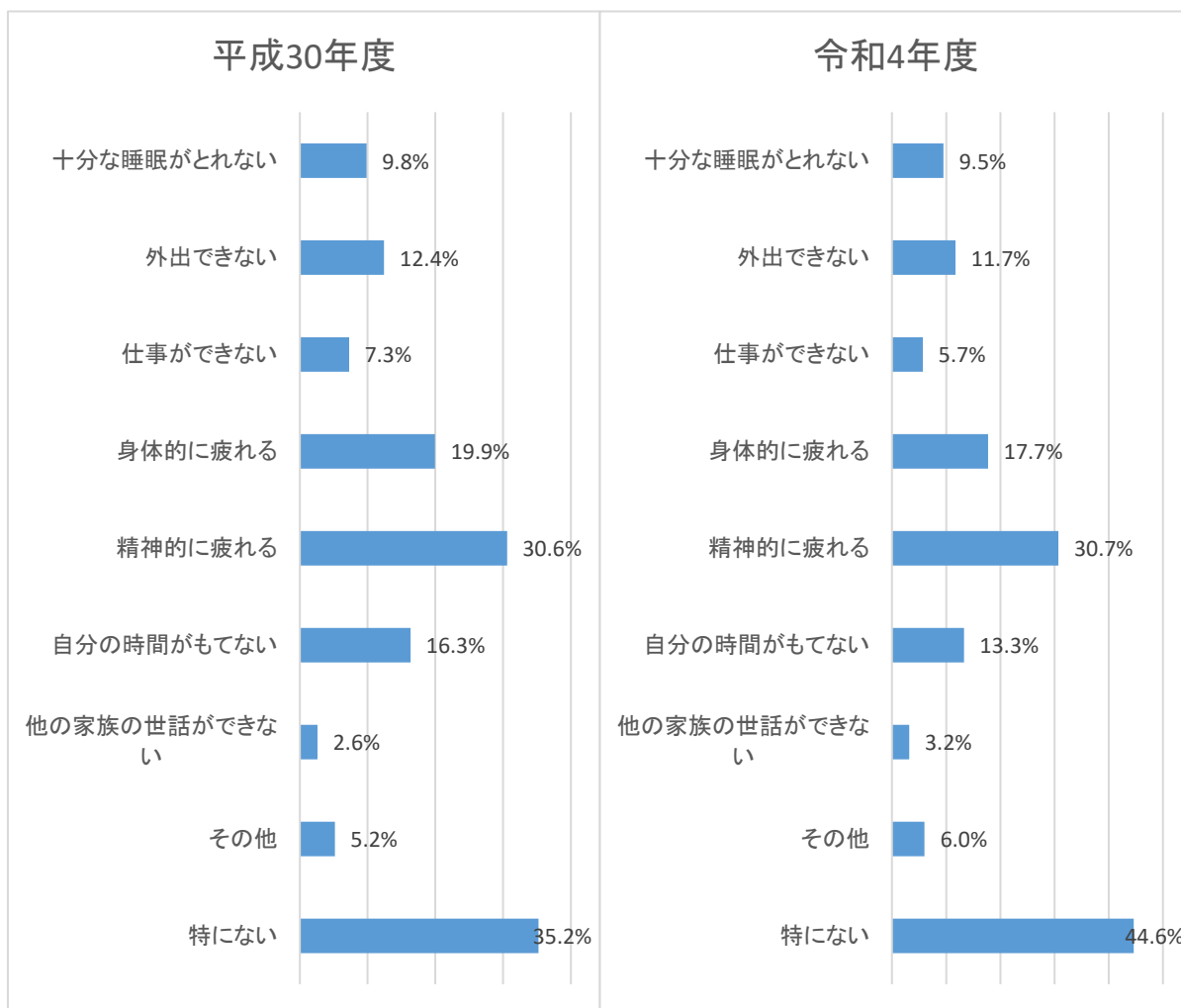
主な介助者	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
祖父	1	0.3%	0	0.0%
祖母	0	0.0%	1	0.3%
父	10	2.6%	11	3.5%
母	85	22.0%	71	22.5%
兄弟姉妹	10	2.6%	8	2.5%
夫	53	13.7%	52	16.5%
妻	88	22.8%	87	27.5%
子ども	44	11.4%	26	8.2%
孫	0	0.0%	0	0.0%
その他	23	6.0%	28	8.9%
複数回答	-	-	0	0.0%
未回答	72	18.7%	32	10.1%
計	386	100.0%	316	100.0%



問15 介助で困っていることはありますか。あれば次のどれですか。(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
十分な睡眠がとれない	38	9.8%	30	9.5%
外出できない	48	12.4%	37	11.7%
仕事ができない	28	7.3%	18	5.7%
身体的に疲れる	77	19.9%	56	17.7%
精神的に疲れる	118	30.6%	97	30.7%
自分の時間がもてない	63	16.3%	42	13.3%
他の家族の世話ができない	10	2.6%	10	3.2%
その他	20	5.2%	19	6.0%
特にない	136	35.2%	141	44.6%
総数	538		450	

※386名に占める割合 ※316名に占める割合



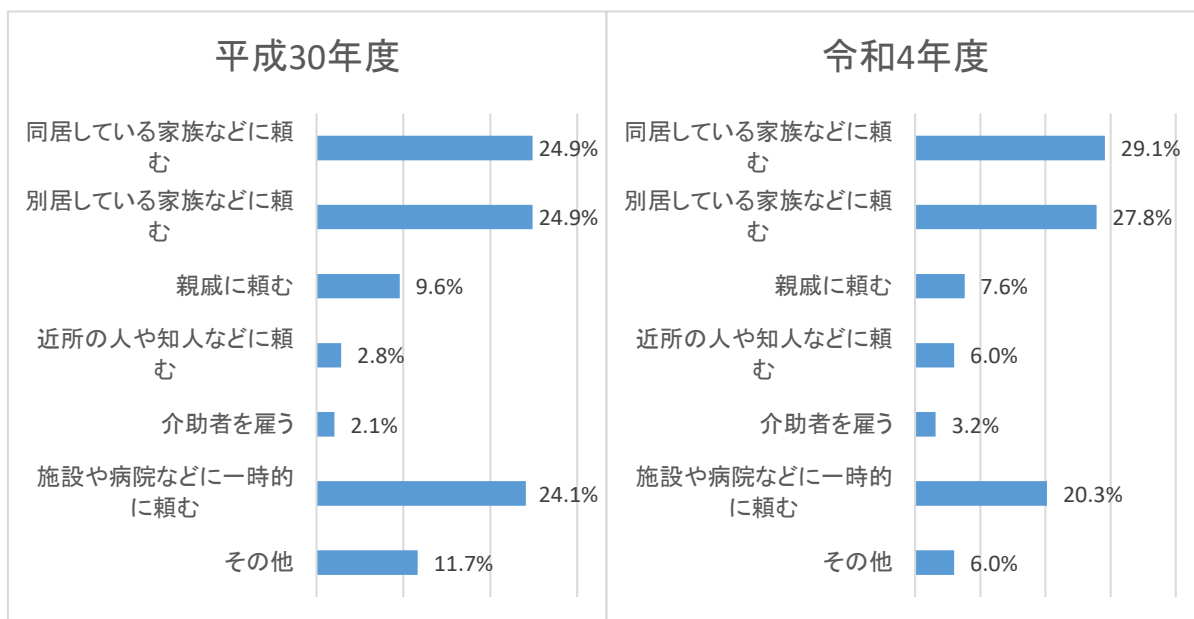
問16 介助のことで困ったとき、だれに相談していますか。(自由記述)

令和4年度

家族や親族、友人や知人、職場の人、介護保険ケアマネジャー、まちの保健室・市役所、医師(病院)、施設や作業所の職員・学校の先生、障害者相談員・民生委員、社会福祉協議会、児童相談所、三重県障害者相談支援センター、相談する人がいない

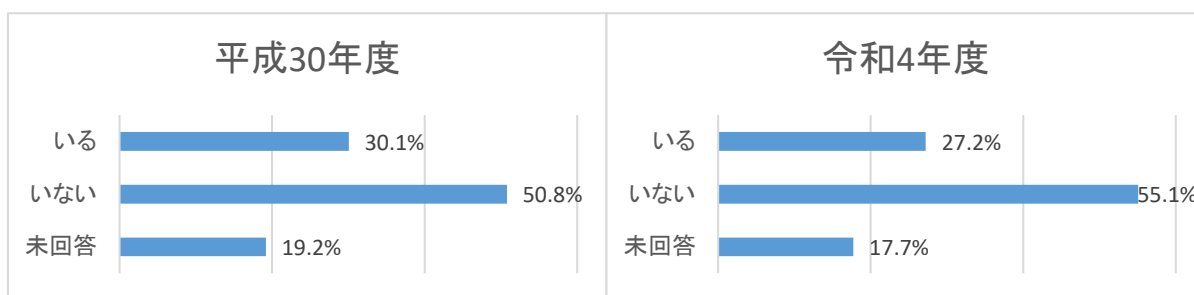
問17 介助者が、急病などやむをえない理由により一時的に介助が出来なくなった場合どうしていますか。(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
同居している家族などに頼む	96	24.9%	92	29.1%
別居している家族などに頼む	96	24.9%	88	27.8%
親戚に頼む	37	9.6%	24	7.6%
近所の人や知人などに頼む	11	2.8%	19	6.0%
介助者を雇う	8	2.1%	10	3.2%
施設や病院などに一時的に頼む	93	24.1%	64	20.3%
その他	45	11.7%	19	6.0%
計	386	100.0%	316	100.0%



問18 同居されている人で介助を交代してくれる人がいますか。

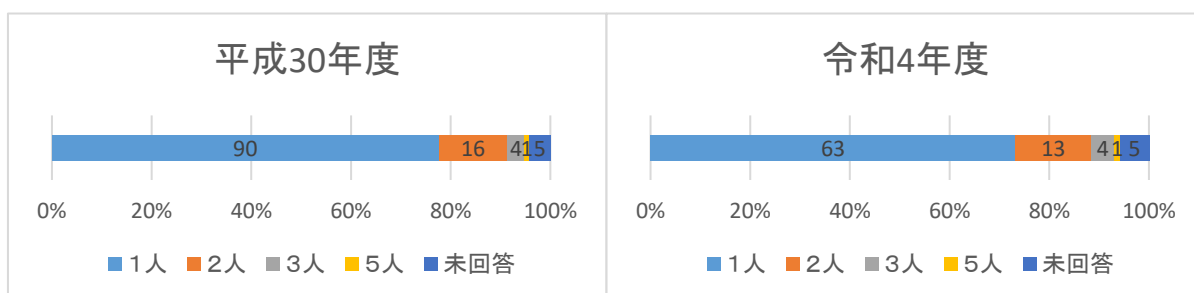
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
いる	116	30.1%	86	27.2%
いない	196	50.8%	174	55.1%
未回答	74	19.2%	56	17.7%
計	386	100.0%	316	100.0%



交代してくれる人がいる場合は人数も記入してください。

項目	平成30年度					計
	1人	2人	3人	5人	未回答	
人数	90	16	4	1	5	116

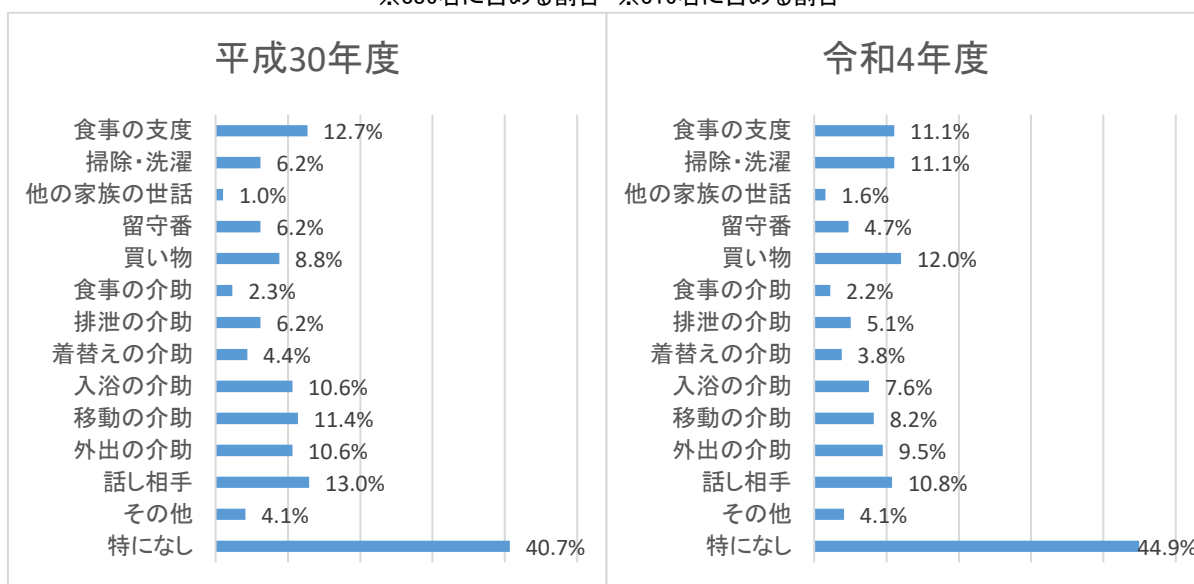
項目	令和4年度					計
	1人	2人	3人	5人	未回答	
人数	63	13	4	1	5	86



問19 介助で他の人から支援してほしいことはありますか。また、あればどういことですか。(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
食事の支度	49	12.7%	35	11.1%
掃除・洗濯	24	6.2%	35	11.1%
他の家族の世話	4	1.0%	5	1.6%
留守番	24	6.2%	15	4.7%
買い物	34	8.8%	38	12.0%
食事の介助	9	2.3%	7	2.2%
排泄の介助	24	6.2%	16	5.1%
着替えの介助	17	4.4%	12	3.8%
入浴の介助	41	10.6%	24	7.6%
移動の介助	44	11.4%	26	8.2%
外出の介助	41	10.6%	30	9.5%
話し相手	50	13.0%	34	10.8%
その他	16	4.1%	13	4.1%
特になし	157	40.7%	142	44.9%
総数	534		432	

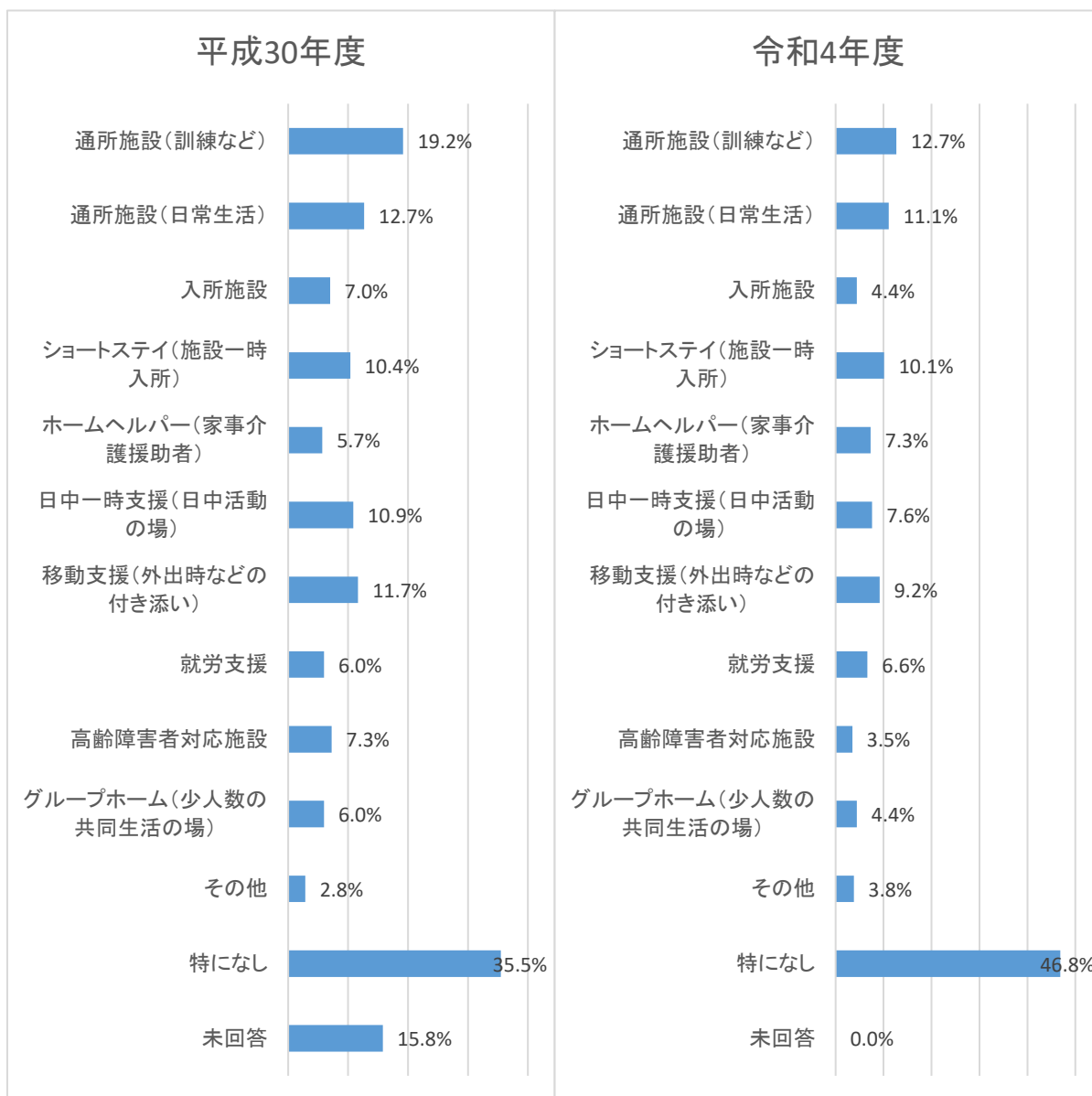
※386名に占める割合 ※316名に占める割合



問20 現在、ご本人に必要な援助は何だと思えますか。(3つまで選択)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
通所施設(訓練など)	74	19.2%	40	12.7%
通所施設(日常生活)	49	12.7%	35	11.1%
入所施設	27	7.0%	14	4.4%
ショートステイ(施設一時入所)	40	10.4%	32	10.1%
ホームヘルパー(家事介護援助者)	22	5.7%	23	7.3%
日中一時支援(日中活動の場)	42	10.9%	24	7.6%
移動支援(外出時などの付き添い)	45	11.7%	29	9.2%
就労支援	23	6.0%	21	6.6%
高齢障害者対応施設	28	7.3%	11	3.5%
グループホーム(少人数の共同生活の場)	23	6.0%	14	4.4%
その他	11	2.8%	12	3.8%
特になし	137	35.5%	148	46.8%
未回答	61	15.8%	-	-
総数	582		403	

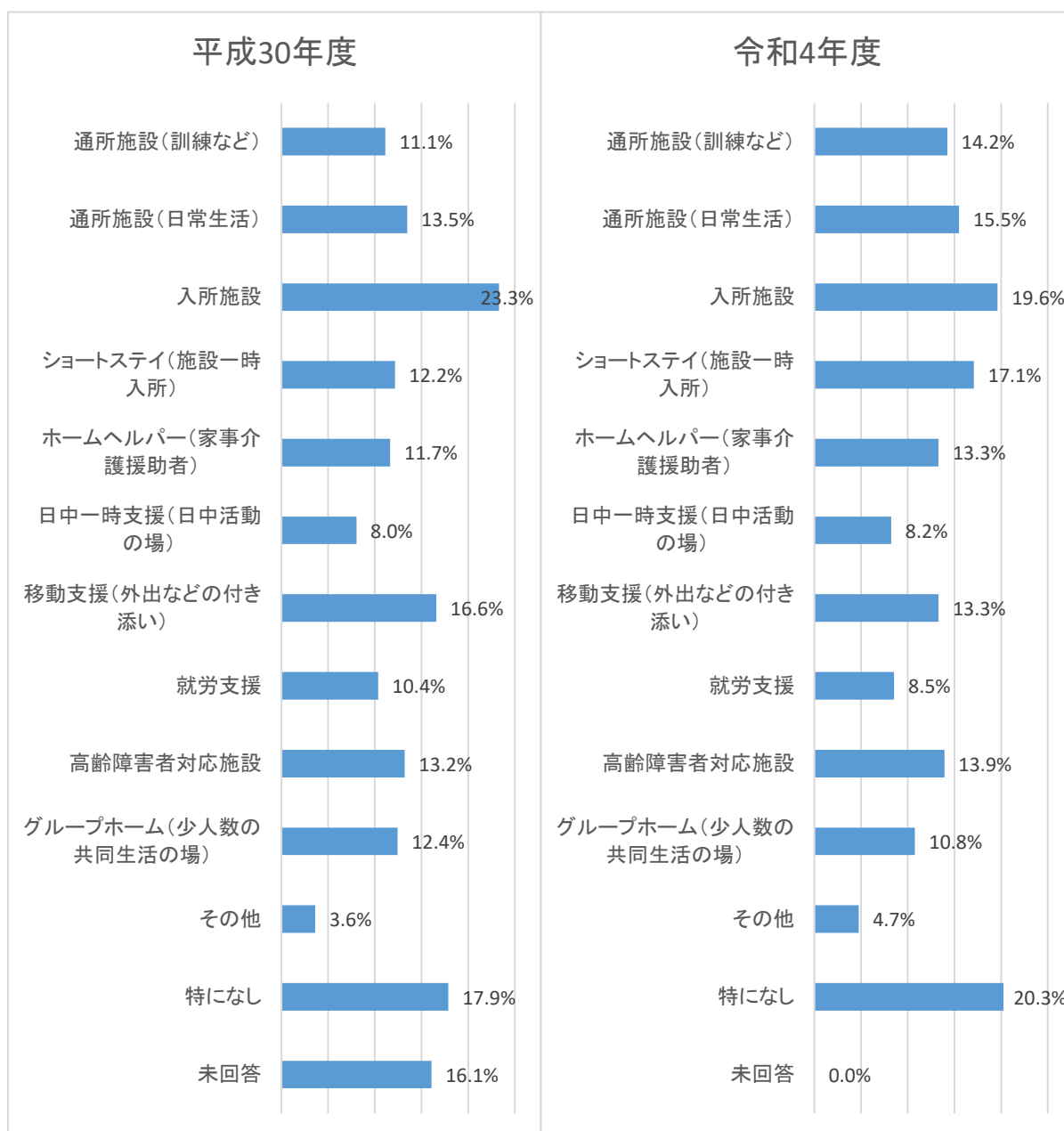
※386名に占める割合 ※316名に占める割合



問21 将来のご本人に必要なになる支援は何ですか。(3つまで選択)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
通所施設(訓練など)	43	11.1%	45	14.2%
通所施設(日常生活)	52	13.5%	49	15.5%
入所施設	90	23.3%	62	19.6%
ショートステイ(施設一時入所)	47	12.2%	54	17.1%
ホームヘルパー(家事介護援助者)	45	11.7%	42	13.3%
日中一時支援(日中活動の場)	31	8.0%	26	8.2%
移動支援(外出などの付き添い)	64	16.6%	42	13.3%
就労支援	40	10.4%	27	8.5%
高齢障害者対応施設	51	13.2%	44	13.9%
グループホーム(少人数の共同生活の場)	48	12.4%	34	10.8%
その他	14	3.6%	15	4.7%
特になし	69	17.9%	64	20.3%
未回答	62	16.1%	-	-
総数	656		504	

※386名に占める割合 ※316名に占める割合



問22 「ご本人」が高齢化するにつれて、どんな問題が生じてくると思われますか。

令和4年度

認知症、寝たきり、病気・障害の再発や進行、体力の低下、居場所、金銭面、介助者、通院や移動、食事や排せつなど生活面、結婚、自立できるか、話し相手 など

問23 問22で回答した問題に対してどんな準備や対策をお考えですか。

令和4年度

施設入所の申込み、補装具や住宅改修、介護認定、医師や行政への相談、金銭面の準備、就労の準備、療育や訓練、成年後見、運動やリハビリ、検診、家族の協力・友人づくり など

問24 「ご家族または介助者」が高齢化するにつれて、どんな問題が生じてくると思われますか。

令和4年度

体力の低下や健康面の不安、金銭面、仕事ができない、介助者不足、通院や移動困難、家事全般ができなくなる、高齢化(老々介護)、ほかの家族への負担の増加、居場所(施設等)、自立など

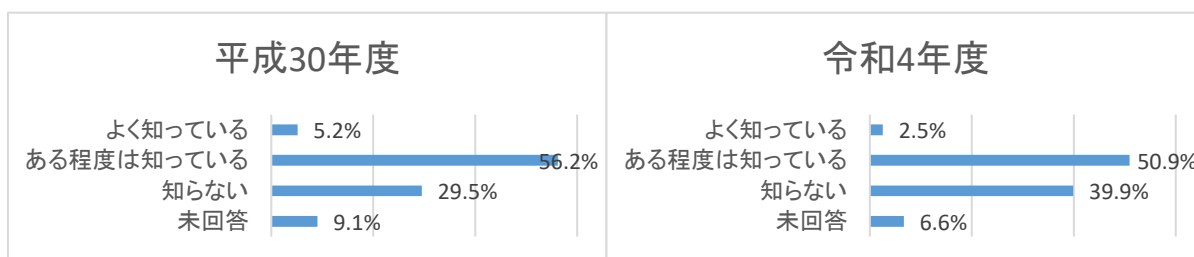
問25 問24で回答した問題に対してどんな準備や対策をお考えですか。

令和4年度

施設入所の利用や申込み、医師や行政への相談、療育や訓練、生活支援サービスの利用、運動やリハビリ・検診、家族の協力、成年後見、金銭面での準備、就労の準備、本人の自立 など

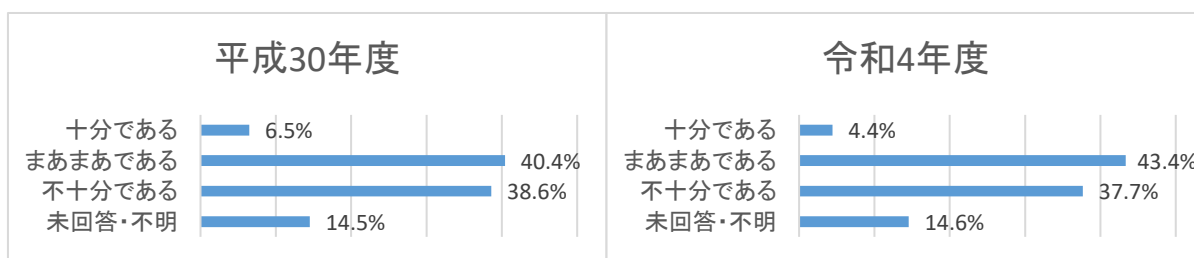
問26 国や三重県、市で行っている障害者福祉サービスをご存じですか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
よく知っている	20	5.2%	8	2.5%
ある程度は知っている	217	56.2%	161	50.9%
知らない	114	29.5%	126	39.9%
未回答	35	9.1%	21	6.6%
計	386	100.0%	316	100.0%



問27 国や三重県、市で行う障害者福祉サービスについての情報は十分に提供されていると思いますか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
十分である	25	6.5%	14	4.4%
まあまあである	156	40.4%	137	43.4%
不十分である	149	38.6%	119	37.7%
未回答・不明	56	14.5%	46	14.6%
計	386	100.0%	316	100.0%



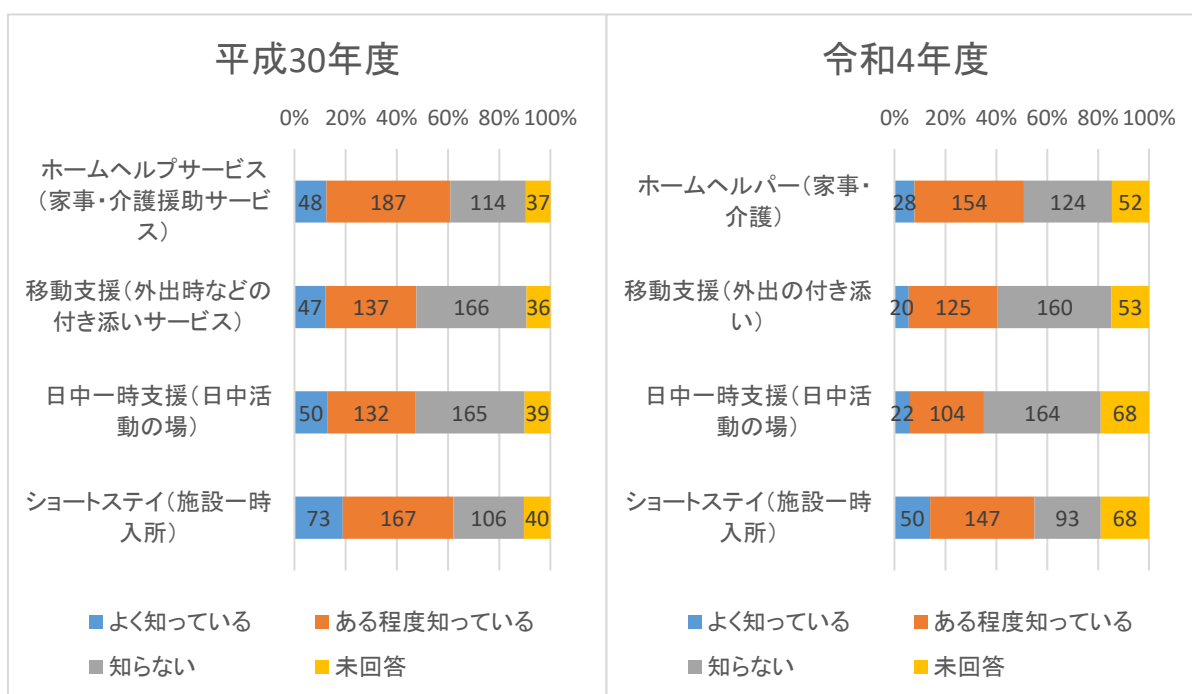
問28 現在、国や三重県、市で行う次のような障害者福祉サービスをご存じですか。

項目	平成30年度				計
	よく知っている	ある程度知っている	知らない	未回答	
ホームヘルプサービス(家事・介護援助サービス)	48	187	114	37	386
移動支援(外出時などの付き添いサービス)	47	137	166	36	386
日中一時支援(日中活動の場)	50	132	165	39	386
ショートステイ(施設一時入所)	73	167	106	40	386

項目	令和4年度				計
	よく知っている	ある程度知っている	知らない	未回答	
ホームヘルパー(家事・介護)	28	154	124	52	358
移動支援(外出の付き添い)	20	125	160	53	358
日中一時支援(日中活動の場)	22	104	164	68	358
ショートステイ(施設一時入所)	50	147	93	68	358

上記以外でご存じの障害者福祉サービス(自由記述)

放課後等デイサービス、就労支援、歩行訓練、入所支援



問29 問28の障害者福祉サービス以外にどのような障害者福祉サービスをお望みですか。(自由記述)

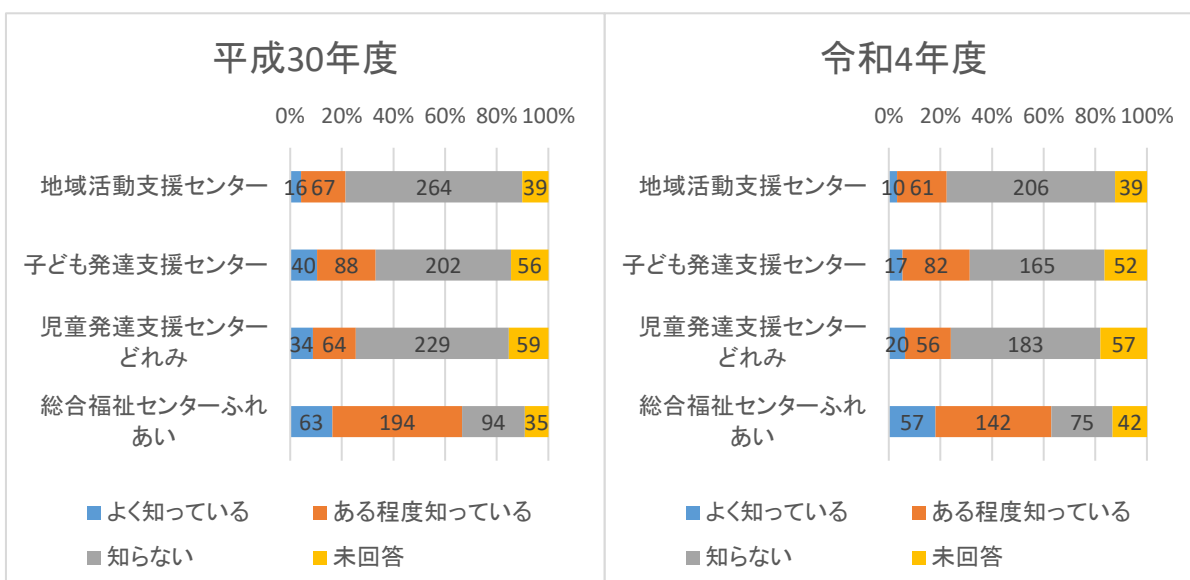
令和4年度

移動手段の確保と充実
病院・ショッピングセンター等の障害者用駐車場を増やしてほしい
情報を提供するタウン紙などの充実
ショートステイ
個々の障害者に合ったキメの細かい福祉サービスの提供
介助者の変わりに時折、家事(食事)を手伝ってほしい
介護者の派遣
誰でも気楽に楽しく行ける場所
成人後見人制度の紹介、援助
金銭管理
市営施設、年金で入所できる施設
介助者のケア
精神障害者の利用サービスを増やしてほしい
就労のための職業訓練(デスクワーク等、パソコン)施設を希望、作業所だけで働くという考えを少なくしたい
安心・安全な宿泊施設
施設から家に帰った時、サポートしてくれるヘルパー
食事の配給(有償)サービスの質向上
リハビリ施設の充実
本人を認めて寄りそってくれる話し相手

問30 市に次のような障害者福祉施設がありますが、ご存じですか。

項目	平成30年度				
	よく知っている	ある程度知っている	知らない	未回答	計
地域活動支援センター	16	67	264	39	386
子ども発達支援センター	40	88	202	56	386
児童発達支援センターどれみ	34	64	229	59	386
総合福祉センターふれあい	63	194	94	35	386

項目	令和4年度				
	よく知っている	ある程度知っている	知らない	未回答	計
地域活動支援センター	10	61	206	39	316
子ども発達支援センター	17	82	165	52	316
児童発達支援センターどれみ	20	56	183	57	316
総合福祉センターふれあい	57	142	75	42	316



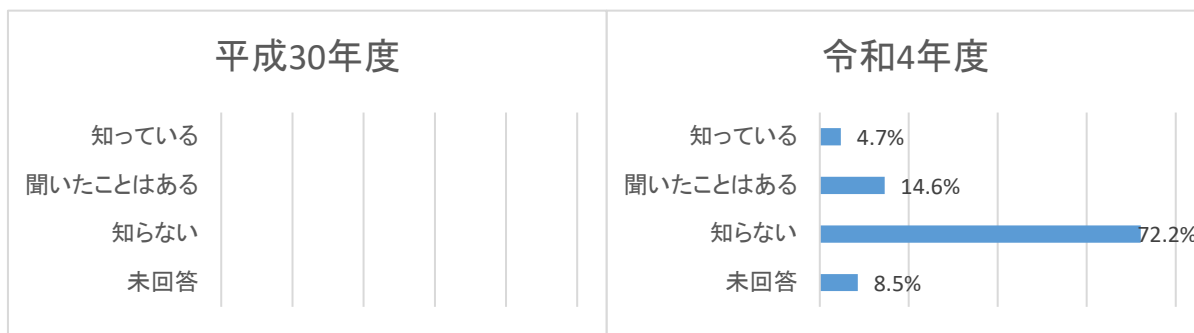
問31 問30の施設以外にどのような福祉関連施設をお望みですか。(自由記述)

令和4年度

養育施設を増やしてほしい、精神障害者を送迎してくれるデイサービス施設、医療型の入所施設、リハビリや訓練施設、成人障害者の必要に応じた生活の場所、高卒レベルの勉強をみてる施設、入所施設(日中活動)生活介護事業施設、家族が安心して預けられ障害者が楽しめる大型施設(喫茶店、お店、パソコン等)、派遣医療、言語療法士のいる施設 など

問32 「農福連携」という言葉を知っていますか。あてはまるものを選んで番号に○をつけてください。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
知っている	-	-	15	4.7%
聞いたことはある	-	-	46	14.6%
知らない	-	-	228	72.2%
未回答	-	-	27	8.5%
計	-	-	316	100.0%



問33 障害のある人に、農業を通じ、生きがいとなる働き方や居場所を提供する全国的な取組を知っていますか。

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
知っている	-	-	50	15.8%
知らない	-	-	235	74.4%
未回答	-	-	31	9.8%
計	-	-	316	100.0%



問34 名張市でも、農業を通じた働き方や居場所づくりに、力を入れて取り組んでいることを知っていますか。

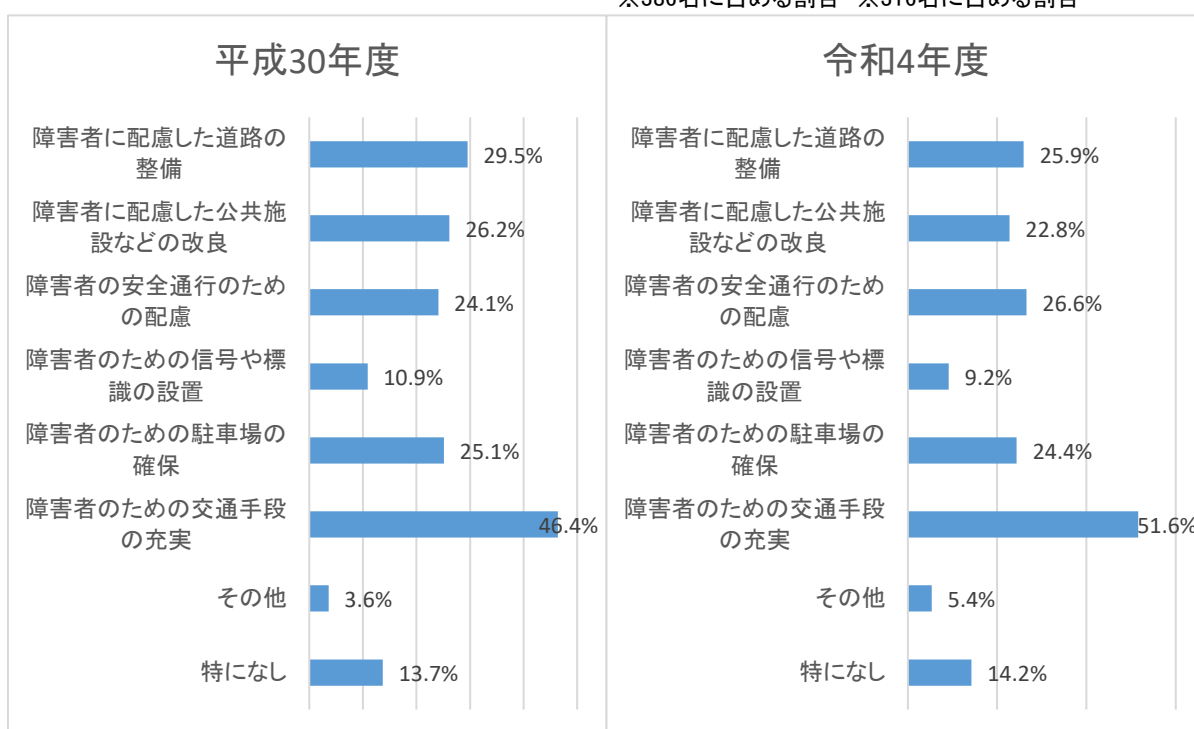
項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
知っている	-	-	42	13.3%
知らない	-	-	242	76.6%
未回答	-	-	32	10.1%
計	-	-	316	100.0%



問35 障害のある人への配慮として、名張市内の建物や道路、交通機関などに関して改善や充実を図っていくべき点がありますか。(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
障害者に配慮した道路の整備	114	29.5%	82	25.9%
障害者に配慮した公共施設などの改良	101	26.2%	72	22.8%
障害者の安全通行のための配慮	93	24.1%	84	26.6%
障害者のための信号や標識の設置	42	10.9%	29	9.2%
障害者のための駐車場の確保	97	25.1%	77	24.4%
障害者のための交通手段の充実	179	46.4%	163	51.6%
その他	14	3.6%	17	5.4%
特になし	53	13.7%	45	14.2%
総数	693		569	

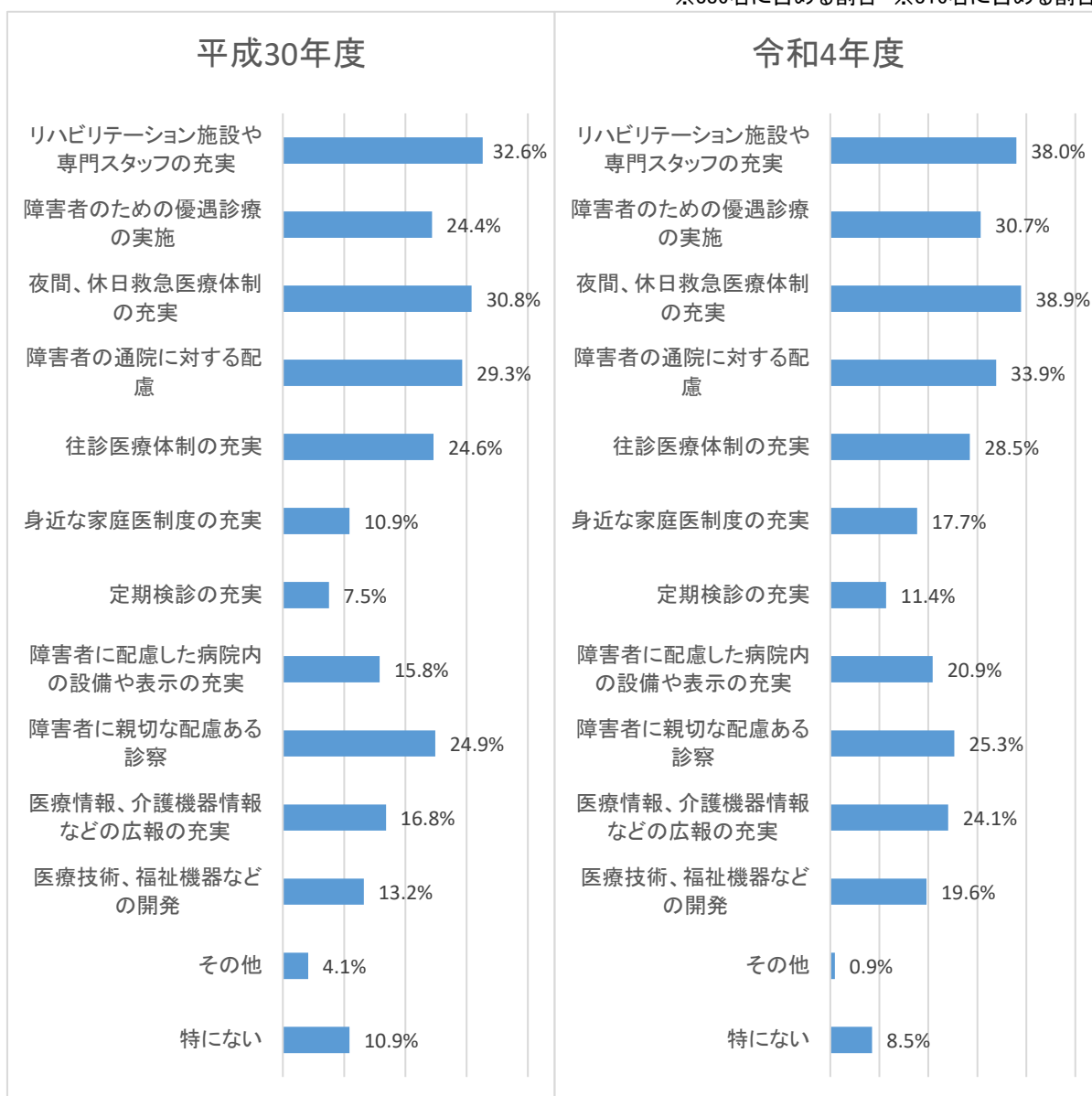
※386名に占める割合 ※316名に占める割合



問36 障害者福祉推進のために市内の医療体制について改善や充実を図っていくべき点がありますか。(複数回答)

項目	平成30年度		令和4年度	
	回答数	割合	回答数	割合
リハビリテーション施設や専門スタッフの充実	126	32.6%	120	38.0%
障害者のための優遇診療の実施	94	24.4%	97	30.7%
夜間、休日救急医療体制の充実	119	30.8%	123	38.9%
障害者の通院に対する配慮	113	29.3%	107	33.9%
往診医療体制の充実	95	24.6%	90	28.5%
身近な家庭医制度の充実	42	10.9%	56	17.7%
定期検診の充実	29	7.5%	36	11.4%
障害者に配慮した病院内の設備や表示の充実	61	15.8%	66	20.9%
障害者に親切的な配慮ある診察	96	24.9%	80	25.3%
医療情報、介護機器情報などの広報の充実	65	16.8%	76	24.1%
医療技術、福祉機器などの開発	51	13.2%	62	19.6%
その他	16	4.1%	3	0.9%
特にない	42	10.9%	27	8.5%
総数	949		943	

※386名に占める割合 ※316名に占める割合



問37 障害者福祉推進に関して市への意見や要望などありましたらお聞かせください。(自由記述)

令和4年度

療育施設を増やしてほしい。
医療型の施設があれば例え1日か2日でも介助者が安心し、眠れ、明日からがんばれると思います。
親が死んだ後、安心して預けられる施設を作してほしい。リハビリを受けられる施設を作ってください。
中学校のトイレに洋式を設置してほしい。
温泉施設に、介護風呂(貸切)を作してほしい
障害者と老人の住める養老院を作してほしい。
名張の障害支援できていると思いますがこれからも知的障害者の家族的な施設を建ててほしいと要望します。
名張にリハビリの病院がない為、週1回、1時間半かけて通院しています。リハビリ専門の病院を強く要望します。
グループホームに入所しても通院等移動手段は全て家族が携わらなければならない。
精神障害者に対しての施設がない。交通が不便、整備してほしい。
移動手段の確保にナッキー号を市内平等に運行希望
タクシー乗務員で福祉専用の方がいれば遠慮なくお手伝いしてもらえます。
住みやすく暮らしやすい名張市にしてほしい。市立病院や市役所、郵便局(本局)へ無料バスを一日2往復できませんか。
転倒、救急時も(特に夜間)施設のヘルパーの対応のみで医師等の専門知識のある人に診察してもらえない。
よほどの重症でないと救急車や病院に連れていってもらえないので、それに対応できる規則と、ヘルパーの増員をお願いしたい。
介助者が病気や急用の時の受け入れ先がほしい。
聴覚障害者への高度補聴器の補助をお願いします。
4級の恩恵はバス半額位なので、電車運賃の割引対象となる距離を短くしてほしい(大阪の病院に通っている為)
水泳、水中歩等の施設がなく補助金(割引)制度もなし、伊賀市は格安温泉の割引
リストラなどになった時の職場の確保をしてほしい。
名張市から出て行く若者の代わりに海外から高度な介助経験のある人材を入れ充実してほしい。
障害者の救急の場合の病院が必要と思います。
障害を理解した医療機関がほとんどない現状である改善して欲しいと思います。
公園などに「てすり」をもっとつけてほしい。
医療保険と介護保険の連同性を強く要望します。高齢者が骨折すると入院しないで自宅療養するケースが多く、2ヶ月の寝たままの状態でも骨折が治ってもリハビリ不足でベッドから立ち上がろうとしても、全く脚の力がなくなっておりそのまま寝た切り介護になる。高齢者の骨折は強制的に入院させ適時リハビリを受けさせる体制をつくって下さい。
精神の病気の発症は中学や高校の時に発症する人もいます。その時の学校の先生方の対応によってもかなりあとの治療が早期の治療につながるかどうか違って来ます。親も病気の事を知らないで、情報がなく手遅れになることもあります。学校の先生方への研修や啓蒙を是非拡げて欲しいと思います。
歯科医、眼科など、断られた経験があるので、名張市で対応してくれる病院を教えて欲しい、広報にのせてほしい。
障害者自立支援制度を病院のポスターで知ったが、制度発足後、数年経っていた。
三重に移転して4年、知らない所が多すぎる。交通不便のせいかなかなか情報を提供してくれないのが現状。
障害者総合支援法、障害福祉サービス受給者証など内容がわからない。
特別児童扶養手当ですが、どこからも情報を教えてもらえなかった。
保護者の申請が基本と、入院等していたがさかのぼっての受給ができなかった。
色々な制度を説明した冊子や情報をいただきたい。
同じ障害のある子供の親同士の交流の場がほしい。
福祉の理想郷とは何か。

親が高齢になると支えきれない。安心して安全な施設に入所できるような情報公開をしてほしい。
重度心身障害が在宅で頑張っています。介護者負担が非常に大きいと思います。
本人今後が不安です。でも近所の人達の話聞きながら有難いと思います。
制度や言葉だけではなく、心の感じられる対応をしていただきたいと思います。
家族が障害者となり日が浅く、何をどうすればよいか分からない状態です。
今の所に要望はありません。十分に機能していると感じています。
良くやっていただいていると思います。ありがとうございます。
もっといただけると将来への不安がなくなりますが、税金は他にも有効に使って欲しいとも思うので、あまり要求ばかりはできないとも思います。
支援していただいて(金銭面)非常に助かっています。しかし、働きに行ける時間が限られているのでまだ生活は厳しいです。
市民が障害者の立場に立って行動してほしい。例えば駐車場のマナー、歩行のマナーなど。
高齢者や障害者に優しく親切に住みやすい街づくりをしてほしい。
申請書、毎年多い。

問38 ご回答いただきました以外に何かご意見などがございましたらご自由にお書きください。(自由記

令和4年度

デジタル化、オンライン等が進んでいく中、どうしても苦手で、ついていけない。取り残されていく。市役所へ行き手続等をする場合、今はどうにかいけますが、タクシー等で行く場合、料金が高くて無理。
介護福祉タクシーの料金を全国どこでも利用でき無料にしてほしいです。
相談しに行ったときに、親身に相談に乗って頂けたら幸いです。
現在はお陰様で健康で暮らしています。このアンケートで障害福祉についての内容がよく分かりました。
色々制度の充実に配慮してくれていますが、中々扉を開けないです。
名張市の地域の民生委員さんのお名前が知りたいです。相談したくても誰か知りません
本人が認知を発症しているの、困ることが多々ある場合、個人差はあると思いますが、対応例など、具体的にわかる情報がほしい。
医療費補助いただきまして、大変感謝しております。名張市は他の地方自治体より、はるかにサービスが充実している事は、知っております。ほんとうにありがとうございます。今後もより人に優しい名張市であって下さい。
娘が子供の頃、何をすることもスムーズに行った事はありません。障害が有るからと学校も保育所もずい分つらい思いをしました。同じ子供なのに区別をされるとてもやしい思いをしました。いっぱい泣きました。
災害時のストマー確保等、よろしくお願いします。トイレもよろしく。
いじめをなくしてほしい。身体に対してのいじめ、健常者が(中学生)が学校帰りに障害者の行動をバカにする。集団で。小学生が、帰り道で、胸グラをつかみあいけんか。どうなっているの、三重県。
小学生、他人の家の庭の花にかかってに折る。車に石をなげる。
障害者としての意識が少ないくらい、健康に過ごしています。これから先のことを少しずつ、考えていかなければならないと思います。
専門職と合わせて、人間力のある人の養成を考えてほしい。
高齢化になるにつれ、外に出る機会をふやす為にも、もう少しスポーツとか、気軽に参加できる様、高齢者を福祉にが威張ってほしい。
医療費助成制度あるだけでも有難いが 後から支給でなく、生活保護のように医療機関に直接払ってほしい。今までがぎりぎりの生活だったので 食料品や電気代の値上げで生活費が回らない。今後必要な検査や薬を勧められても支払いを考えると受けられない。
障害のある人達が、普通に『個性として』生活できるような社会と受け皿が名張に根付きますように、切に祈ります。
内部疾患のため、設問が不相应なところが感じられました。